


脳萎縮評価支援システム バイエスラド アドバンス



<取扱説明書> インストールマニュアル

医療機器承認前の VSRAD (従来版) から、設定内容 (レポートレイアウト、処理結果出力先、健常者データベースの設定など) の引き継ぎが自動では行われません。詳しくは、本マニュアル【5. 医療機器承認前バージョン (従来版) からの設定の引き継ぎ】をご確認ください。

製造販売元

 エーザイ株式会社

東京都文京区小石川4-6-10

目次

1. はじめに	2
2. 推奨動作環境	2
3. インストール	3
3.1. MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)のインストール	4
3.2. バイオスタド アドバンス 本体のインストール	6
4. 起動	9
5. 医療機器承認前バージョン(従来版)からの設定の引き継ぎ	11
6. アンインストール	24
6.1. MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)のアンインストール	24
6.2. バイオスタド アドバンス 本体のアンインストール	25

1. はじめに

本マニュアルは、「バイエスラド アドバンス」(以下、本プログラム)のインストールおよび、アンインストールの方法について示したものです。

※本マニュアルにおいて記載されている社名、各製品名は各社の登録商標または商標です。

※本プログラムは使用許諾規約に同意の上ご使用ください。

2. 推奨動作環境

本プログラムの推奨動作環境は次の通りです。

環境	推奨動作環境
OS	Windows 7 SP1 (32bit 版、64bit 版／日本語版) Windows 10 (32bit 版、64bit 版／日本語版)
CPU	Intel Core 2 Duo クラス以上
解像度	1280 × 1024 以上
色	HighColor (16bit) 以上
メモリ	3.0GB 以上
HDD 空き容量	インストール先ドライブの空き容量: 3GB 以上 (参考: パッケージの容量は約 240MB) ワークフォルダ用の空き容量: 3GB 以上 (参考: 256 × 256 × 140 枚の画像約 30 人分) 上記はあくまでも参考値であり、画像の解像度および枚数等により異なります。

※入出力される画像ファイルが多いため HDD の使用容量は増加します。使用状況によっては HDD の容量の確保が必要となる場合があります。

※本プログラムのインストールには、コンピュータ管理者の権限が必要です。

※本プログラムの動作には「.NET Framework 3.5」が必要です。

※ハードウェア、メモリ容量、他のアプリケーションによる環境設定等により、正常に動作しない場合があります。





※PC の画面設定における「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」という設定項目 (DPI 設定) は「100%」のみに対応しています。

※本プログラム上で法定表示を確認するには PDF 表示用プログラムが必要です。

※OS の将来的なアップデートの影響やサポート期間の終了により、推奨動作環境の OS が変更となる可能性があります。

3. インストール

本プログラムの DVD-ROM のフォルダ構成は次のようになっています。

- └─  2 つともインストールしてください
 - | └─  1 つ目のインストール
 - | └─ └─ MCR_R2015aSP1_win32_installer.exe ...「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」のインストーラー
 - | └─  2 つ目のインストール
 - | └─ └─ Setup.exe ...「バイエスラド アドバンス」本体のインストーラー
- └─  インストールができない場合に使用
 - | └─ └─ local_mcr.zip
 - | └─ └─ はじめにお読みください.txt

本プログラムを使用するためには、「バイエスラド アドバンス」本体のインストールの他に、「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」をインストールする必要があります。「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」は本プログラムを動作させるために必要なライブラリです。

本プログラムの DVD-ROM には、「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」と「バイエスラド アドバンス」本体の 2 つのインストーラーが同梱されていますので、3.1 および 3.2 の手順に従い、両方のインストールを行ってください。

※「local_mcr.zip」は「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」のインストールされるファイルを圧縮したものです。「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」のインストールができない場合に使用することを想定していますが、通常は使用しません。

3.1. MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)のインストール

「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」のインストール手順について説明します。

※「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」のインストールには、コンピュータ管理者の権限が必要です。

※従来版の「VSRAD advance」、「VSRAD advance 2」から、「MATLAB Runtime」のバージョンアップをしているため、お手数ですが、従来版をご使用の場合もインストールください。

1. 本プログラムの DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入し、DVD-ROM の「MCR_R2015aSP1_win32_installer.exe」を実行します。

※ご使用の環境によっては、起動に 5 分以上かかることがあります。

2. [ユーザー アカウント制御] ウィンドウが表示されることがあります。



[[はい] ボタンを押します。

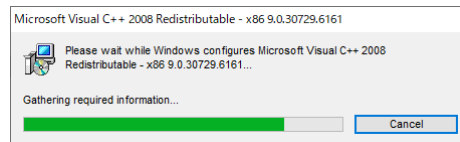
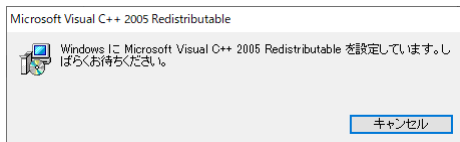
※OS の設定によって表示されないことがあります。

3. [インストーラーの解凍] ウィンドウが表示されます。



インストーラーの中身を解凍しています。次の画面に遷移するまでしばらくお待ちください。

4. [Visual C++ 2005 ランタイムのインストール] ウィンドウおよび [Visual C++ 2008 ランタイムのインストール] ウィンドウが表示される場合があります。



ランタイムをインストールしています。次の画面に遷移するまでしばらくお待ちください。

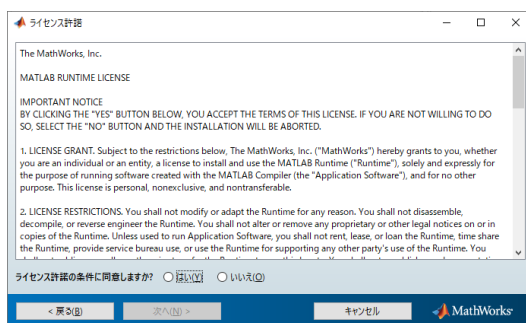
※各ランタイムが既にインストールされている場合は表示されません。

5. [タイトル] ウィンドウが表示されます。



[次へ] ボタンを押します。

6. [ライセンス許諾確認] ウィンドウが表示されます。



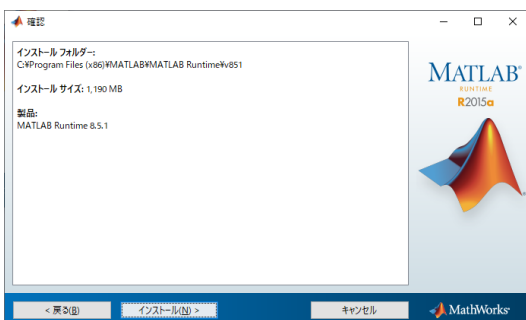
「MATLAB Runtime」のライセンス許諾の確認です。
「ライセンス許諾の条件に同意しますか?」に「はい」をチェックして [次へ] ボタンを押します。
※「バイエスラド アドバンス」を使用する場合は、同意する必要があります。

7. [インストール先設定] ウィンドウが表示されます。



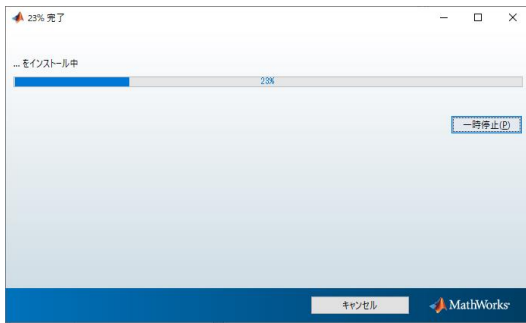
インストール先が表示された場所で良い場合は、変更せずにそのまま [次へ] ボタンを押します。
変更したい場合は [参照] ボタンを押して、インストールしたいフォルダを指定してください。
※初期設定でのインストールをお勧めします。

8. [インストール確認] ウィンドウが表示されます。



[インストール] ボタンを押します。

9. [インストール状況] ウィンドウが表示されます。



ご使用の環境によっては、インストールに **10 分以上**かかる場合があります。
インストール完了ウィンドウが表示されるまで、しばらくお待ちください。

10. [インストール完了] ウィンドウが表示されます。

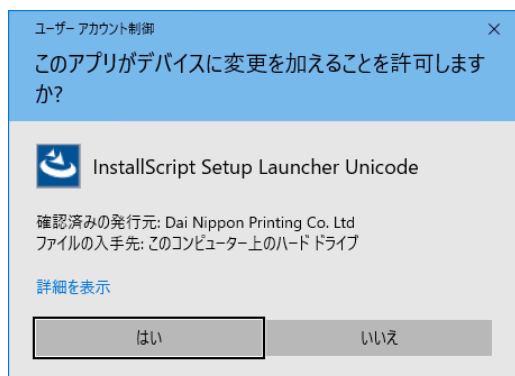


インストールが完了しました。
[終了] ボタンを押してください。

3.2. バイエスラド アドバンス 本体のインストール

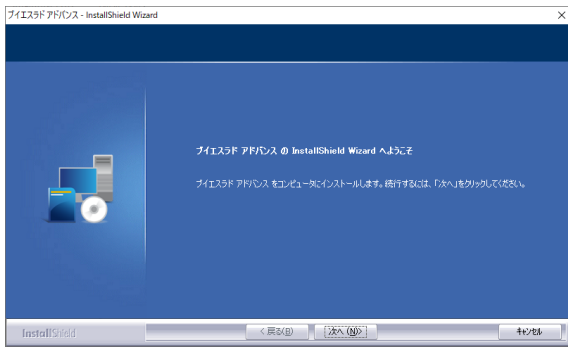
「バイエスラド アドバンス」本体のインストール手順について説明します。
※「バイエスラド アドバンス」本体のインストールには、コンピュータ管理者の権限が必要です。

1. 本プログラムの DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入し、DVD-ROM の「Setup.exe」を実行します。しばらくすると、次の画面が表示されます。
2. [ユーザー アカウント制御] ウィンドウが表示されることがあります。



[はい] ボタンを押します。
※OS の設定によっては表示されないことがあります。

3. [セットアップ初期] ウィンドウが表示されます。



[次へ] ボタンを押します。

4. [ユーザー情報入力] ウィンドウが表示されます。



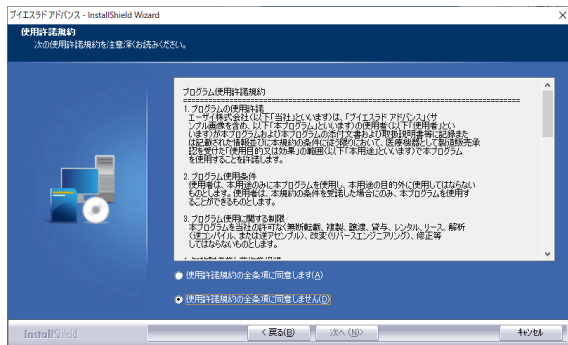
[ユーザー名]、[所属]、[ライセンスキー]を入力し、[次へ] ボタンを押します。

※ライセンスキーは、パッケージをご確認ください。

※正しいライセンスキーを入力しない限り、インストールを先に進めることはできません。また、ライセンスキーには、大文字・小文字の区別があることにご注意ください。

※ユーザー名、所属に入力する値は任意です。

5. [使用許諾規約] ウィンドウが表示されます。



プログラム使用許諾規約を確認後、内容に同意される場合は、「使用許諾規約の全条項に同意します」オプションをクリックし、[次へ] ボタンを押します。

※同意されない場合は、[キャンセル] ボタンを押して、インストールを終了してください。

6. [インストール先の選択] ウィンドウが表示されます。

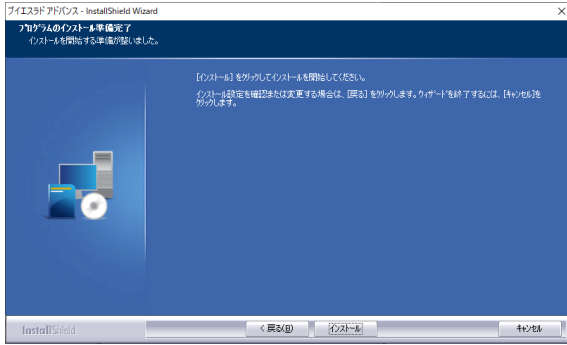


インストール先が表示された場所で良い場合は、変更せずにそのまま [次へ] ボタンを押します。

変更したい場合は [変更] ボタンを押して、インストールしたいフォルダを指定してください。

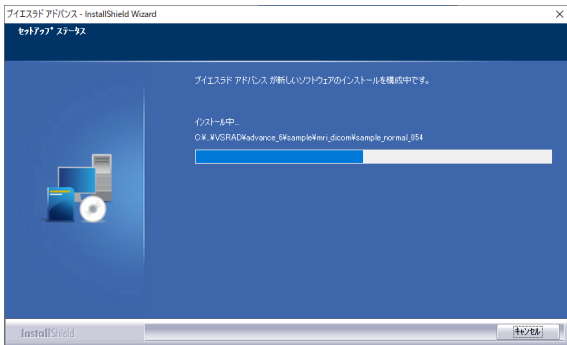
※本プログラムは SPM8 を移植しており、SPM8 の動作環境の制約のため、日本語を使用したフォルダにはインストールできません。初期設定でのインストールをお勧めします。

7. [プログラムのインストール準備完了] ウィンドウが表示されます。



[インストール] ボタンを押します。
インストールが開始されます。

8. [セットアップステータス] ウィンドウが表示されます。

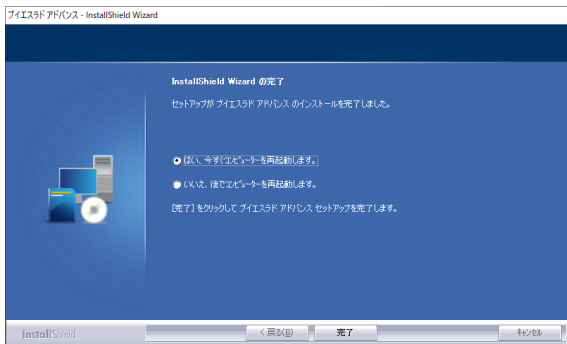


ご使用の環境によっては、インストールに **5分以上**かかる場合があります。

インストールウィザードの完了ウィンドウが表示されるまで、しばらくお待ちください。

※インストールされるフォルダの一部のフォルダ(サンプル画像が格納されているフォルダ)のアクセス権限を書き込み可能に変更します。

9. [インストールウィザードの完了] ウィンドウが表示されます。



インストール完了です。
[完了] ボタンを押してください。

※自動的にPCが再起動されるため、作業途中のソフトウェアがある場合は保存してから[完了]ボタンを押してください。

4. 起動

本プログラムは、デスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリックして起動する場合と、スタートメニューからショートカットアイコンを選択して起動する場合の 2 通りの方法で起動することができます。

■ デスクトップアイコンからの起動

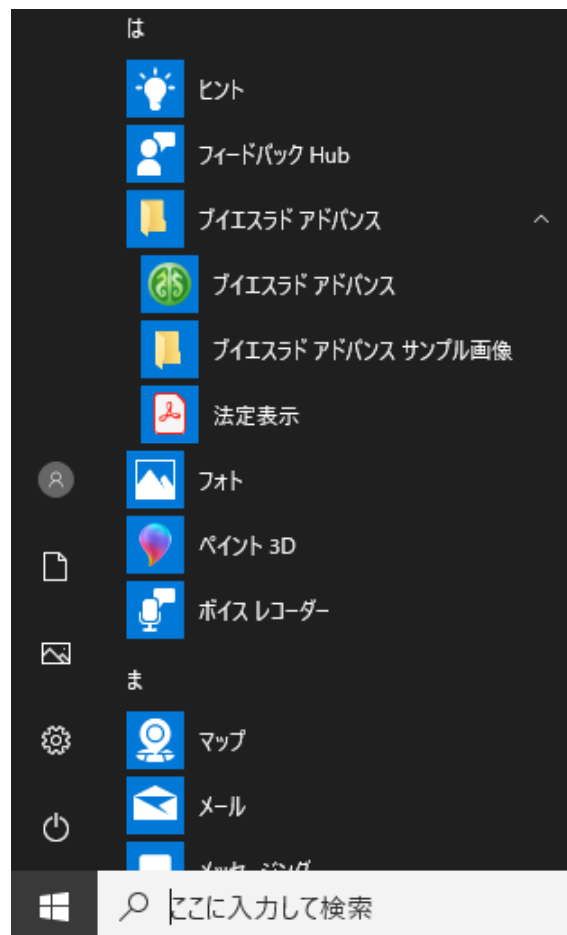
デスクトップ上の次のアイコンをダブルクリックしてください。



■ スタートメニューからの起動

スタート (Windows ロゴ) → プログラムの一覧から「は」の段 → バイエスラド アドバンス → バイエスラド アドバンス

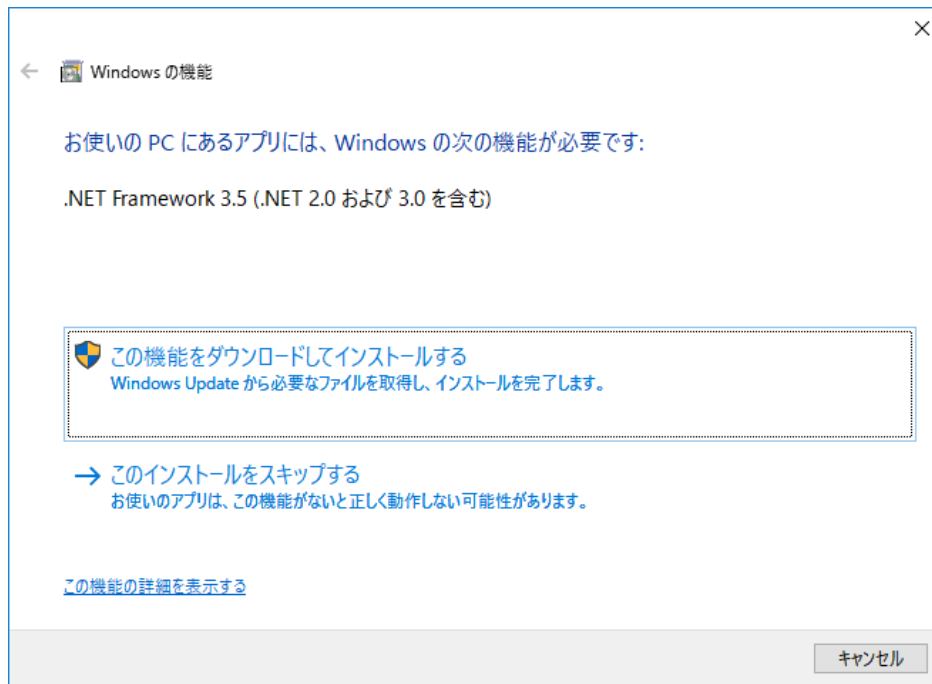
※OS の設定により異なることがあります。



Windows 10 の場合

ご注意

本プログラムの起動時に以下のようなアラート画面が表示されることがあります。
これは、本プログラムの起動に必要な「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」がインストールされていない場合に発生する現象です。



【対策】

アラート画面の、「この機能をダウンロードしてインストールする」を選択いただき、画面の指示に従って「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」をインストールしてください。

インターネットに接続していない場合は、Windows 10 のインストール メディア (ISO イメージや DVD)を使用することでインストール可能です。

※具体的な方法は Windows OS のバージョンに依存するため、マイクロソフトまたは VSRAD システムサポートセンターまでお問い合わせください。

5. 医療機器承認前バージョン(従来版)からの設定の引き継ぎ

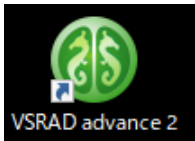
本プログラムの従来版である「VSRAD advance」および「VSRAD advance 2」からの設定を引き継ぎたい場合は、設定作業を手動で実施する必要があります。設定を引き継ぐ手順を次に示します。なお、ここでは、従来版の「VSRAD advance 2」から設定を引き継ぐ手順を説明します。

※「VSRAD advance」からの引き継ぎも同様の手順で行えます。

1. 「VSRAD advance 2」の設定を記録します。

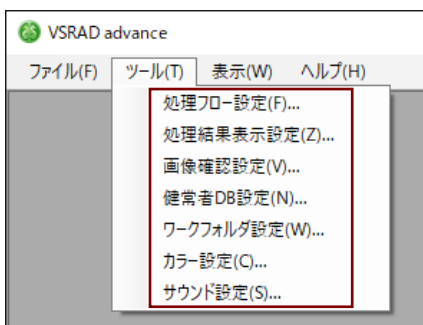
次の手順で「VSRAD advance 2」の設定を画面キャプチャ等で記録します。

1.1. 「VSRAD advance 2」を起動します。



「VSRAD advance 2」をショートカットにより起動します。

1.2. [ツール] メニューの各設定を記録します。

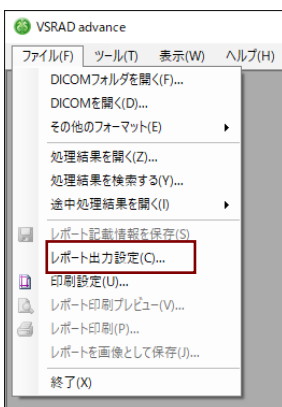


メニューの [ツール] から表示される各設定画面について、設定を記録します。

- ・処理フロー設定
- ・処理結果表示設定
- ・画像確認設定
- ・健常者 DB 設定
- ・ワークフォルダ設定
- ・カラー設定
- ・サウンド設定

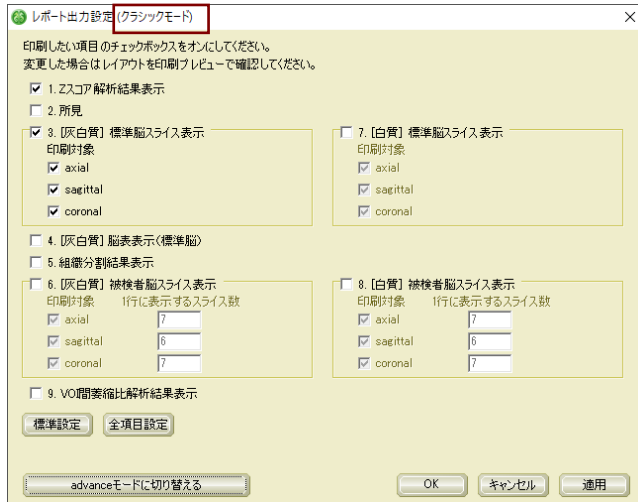
1.3. [ファイル] メニューの [レポート出力設定] の設定を記録します。

1.3.1. [レポート出力設定] を選択します。



メニューから、[ファイル] → [レポート出力設定]を選択してください。

1.3.2. [レポート出力設定] のモードを確認します。



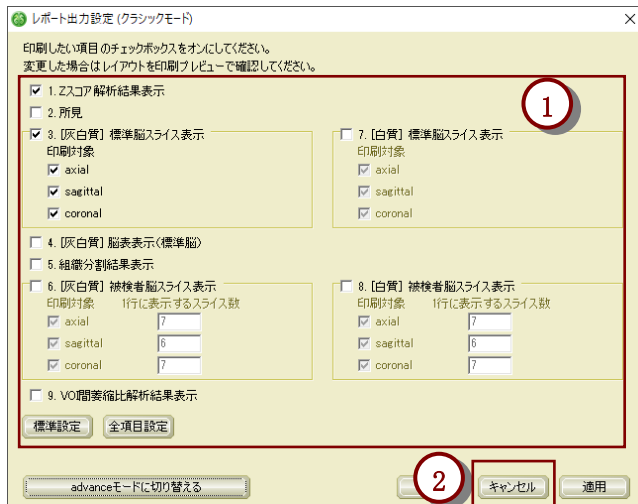
[レポート出力設定] にはクラシックモードと advance モードがあります。モードの状態は画面の上の表記で確認できます。

＜モードにより次の手順が変わります＞

クラシックモードの場合 : 1.3.2.1 へ

advance モードの場合 : 1.3.2.2 へ

1.3.2.1. クラシックモードの場合

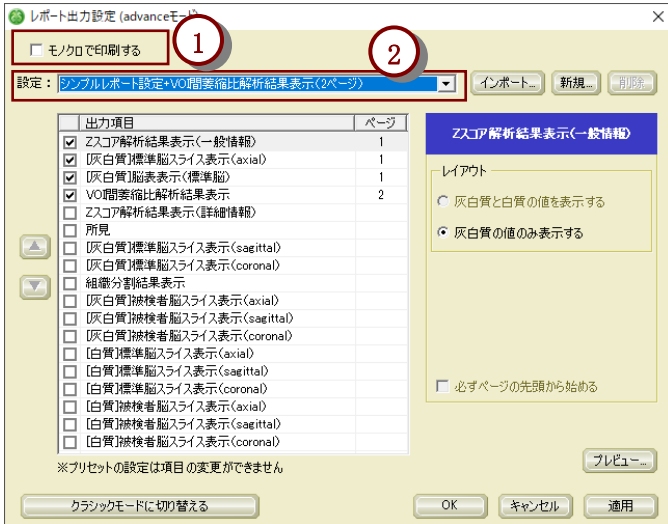


①設定を記録します。

②[キャンセル] ボタンを押して、ウィンドウを閉じます。

＜【2. 「バイエスラド アドバンス」の設定を行います。】に進みます。＞

1.3.2.2. advance モードの場合



①「モノクロで印刷する」のチェックボックスの状態を記録します。

②画面上の「設定:」の右の選択枝の状態が下記4種のシンプルレポート設定であるか、そうではないかを確認します。

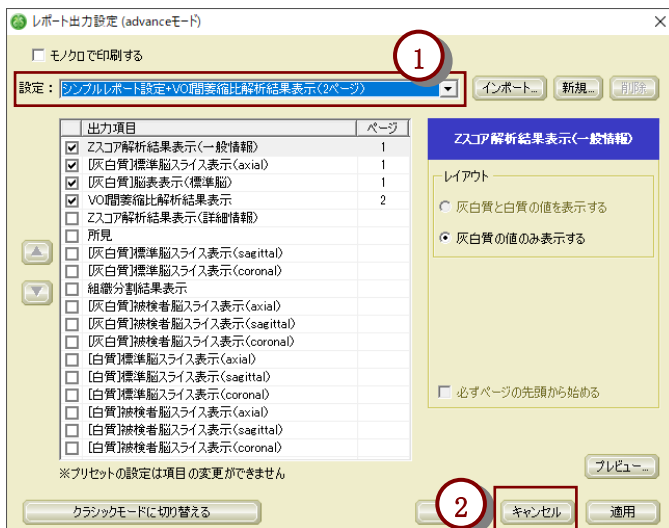
- ・ シンプルレポート設定(1 ページ)
- ・ シンプルレポート設定(白質含む詳細 2 ページ)
- ・ シンプルレポート設定+VOI 間萎縮比解析結果表示(2 ページ)
- ・ シンプルレポート設定+VOI 間萎縮比解析結果表示(白質含む詳細 3 ページ)

<設定により次の手順が変わります>

シンプルレポート設定の場合 : 1.3.3.2.1 へ

シンプルレポート設定ではない場合: 1.3.3.2.2 へ

1.3.3.2.1. 設定がシンプルレポート設定である場合

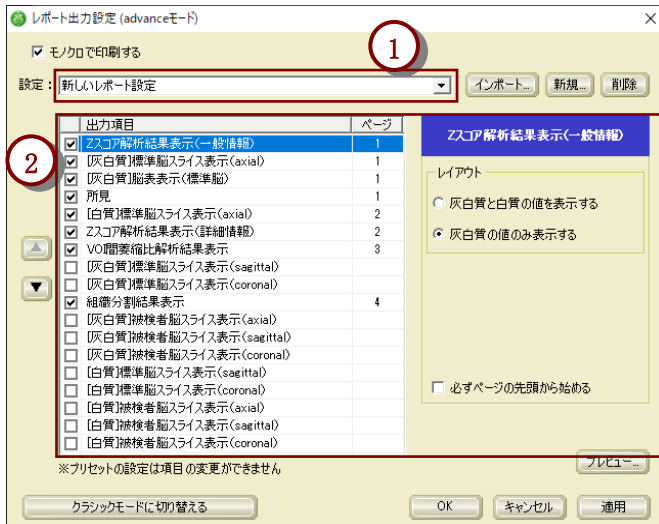


①画面上の「設定:」をどの設定にしているのかを記録します。

②[キャンセル] ボタンを押して、ウィンドウを閉じます。

<【2. 「バイエスラド アドバンス」の設定を行います。】に進みます。>

1.3.3.2.2. 設定がシンプルレポート設定ではない場合



①「設定:」に書かれているレポート設定の名称を記録します。

②次の設定を記録します。

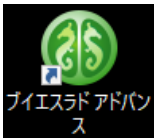
- ・ 左側にチェックが入っている出力項目
- ・ 出力項目の順番
- ・ 各出力項目の設定(出力項目を選択すると、右側に表示)

<【2. 「バイエスラド アドバンス」の設定を行います。】に進みます。>

2. 「バイエスラド アドバンス」の設定を行います。

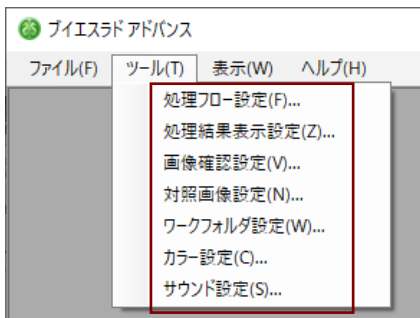
次の手順で「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。

2.1. 「バイエスラド アドバンス」を起動します。



「バイエスラド アドバンス」をショートカットにより起動します。

2.2. [ツール] メニューの各設定を行います。

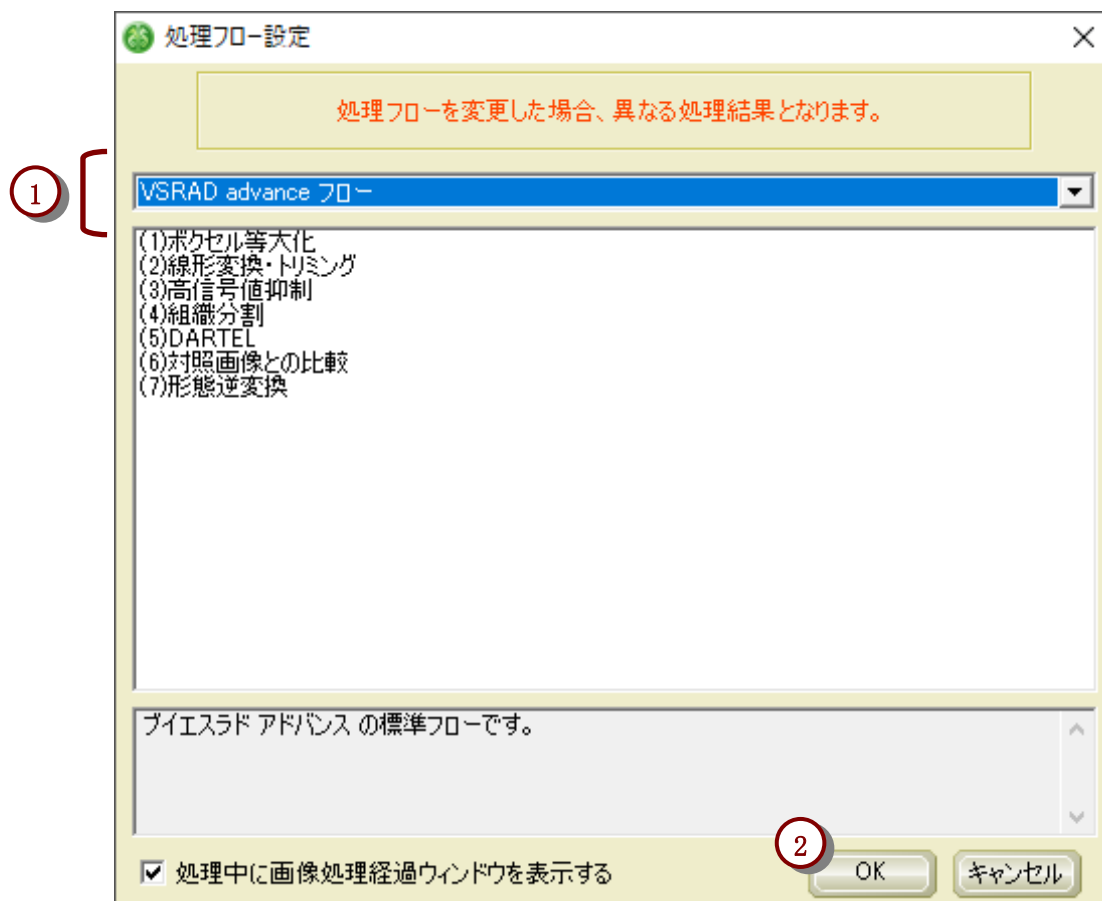


メニューの [ツール] から表示される設定画面について、「バイエスラド アドバンス」の設定を【1.2. [ツール] メニューの各設定を記録します。】で記録した「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。

- ・処理フロー設定
- ・処理結果表示設定
- ・画像確認設定
- ・対照画像設定
- ・ワークフォルダ設定
- ・カラー設定
- ・サウンド設定

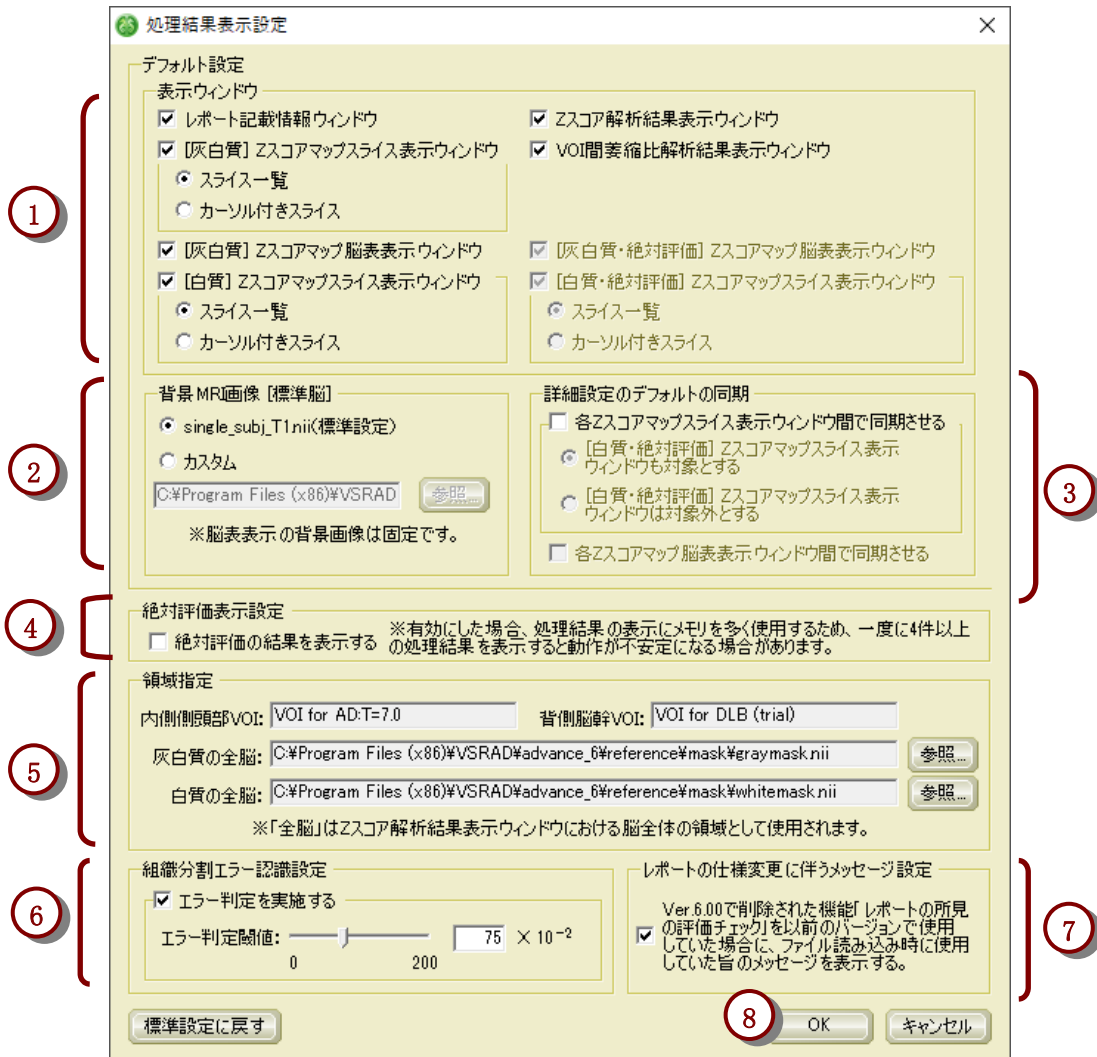
それぞれの設定方法は 2.2.1～2.2.7 で示します。

2.2.1. [処理フロー設定] の設定



- ①処理フローについて、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。
- ②[OK] ボタンを押します。

2.2.2. [処理結果表示設定] の設定



- ①「表示ウィンドウ」について、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。
- ②「背景 MRI 画像」について、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。カスタムが選択されていて、インストール先のファイルが指定されている場合はインストール先を置き換えてください。
 ※初期設定のフォルダにインストールされている場合、インストール先は下記となります。
 - ・32bit OS の場合
 - 「VSRAD advance 2」・・・ C:\Program Files\VSRAD\advance_rtm
 - 「バイエスラド アドバンス」・・・ C:\Program Files\VSRAD\advance_6
 - ・64bit OS の場合
 - 「VSRAD advance 2」・・・ C:\Program Files (x86)\VSRAD\advance_rtm
 - 「バイエスラド アドバンス」・・・ C:\Program Files (x86)\VSRAD\advance_6
- ③「詳細設定のデフォルトの同期」について、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。
- ④「絶対評価表示設定」について、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。
- ⑤「領域指定」は初期設定のままとしてください。
- ⑥「組織分割エラー認識設定」について、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。
- ⑦「バイエスラド アドバンス」では「レポートの仕様変更に伴うメッセージ設定」が加わっています。初期設定の

ままとしてください。

※「バイエスラド アドバンス」では、従来版で搭載されていた「レポートの所見の評価チェック項目」が削除されています。そのため、従来「レポートの所見の評価チェック項目」を使用していた場合でも、本プログラムのレポートには所見のチェック内容が表示されません。従来版で「レポートの所見の評価チェック項目」が使用されていた場合は、処理結果ファイル読み込み時にその旨のメッセージを表示します。本メッセージの表示有無は、⑦のチェックの有無により設定可能です。

⑧[OK] ボタンを押します。

2.2.3. [画像確認設定] の設定

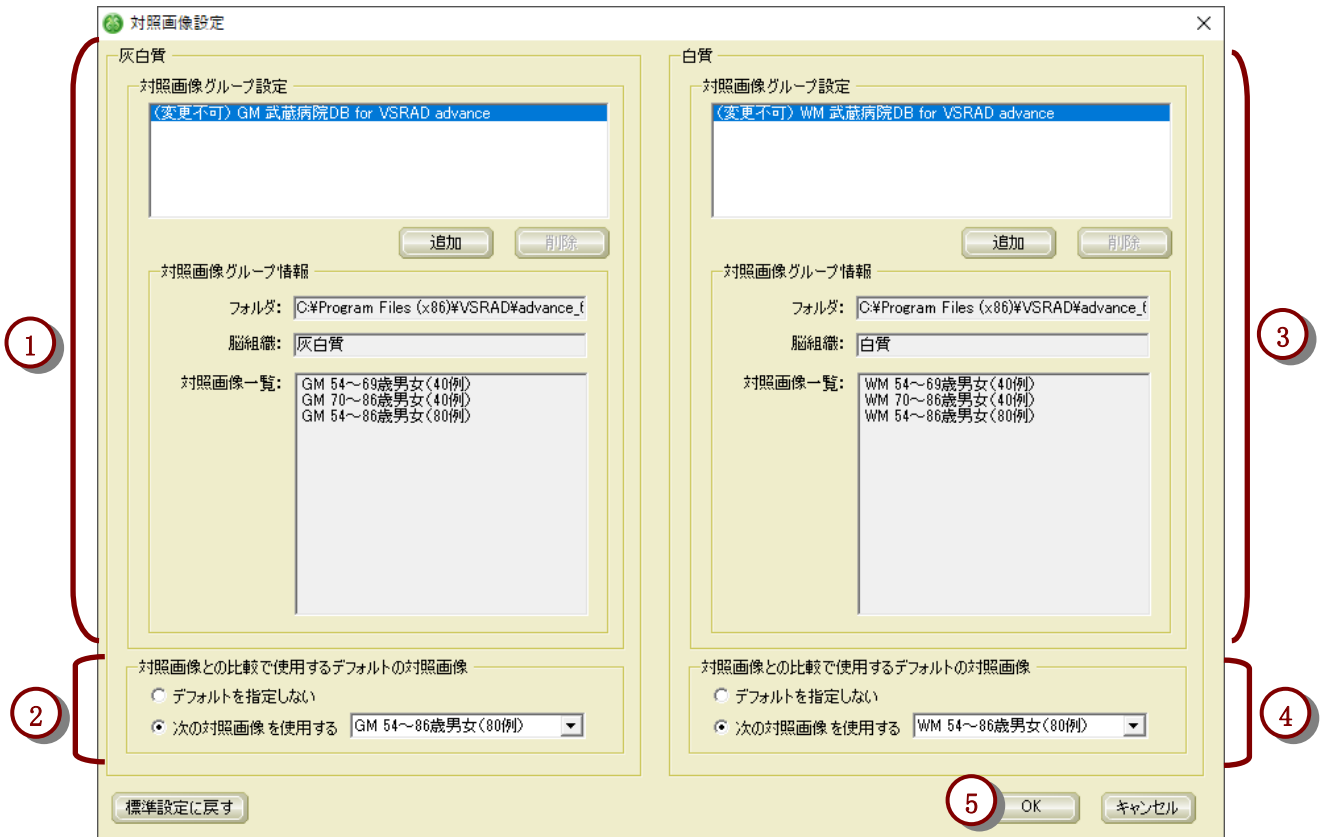


①各設定について、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。

②[OK] ボタンを押します。

2.2.4. [対照画像設定] の設定

※「VSRAD advance 2」の [健常者 DB 設定] は「バイエスラド アドバンス」では [対照画像設定] に名称が変わっており、画面内での文言にも違いがありますが、機能に違いはありません。



① 灰白質の「対照画像グループ設定」は初期設定のままとしてください。

② 灰白質の「対照画像との比較で使用するデフォルトの対照画像」について、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。

※「対照画像との比較で使用するデフォルトの対照画像」は「VSRAD advance 2」では「健常者との比較で使用するデフォルトのDB」と表示されます。

※「次の対照画像を使用する」は「VSRAD advance 2」では「次のDBを使用する」と表示されます。

③ 白質の「対照画像グループ設定」は初期設定のままとしてください。

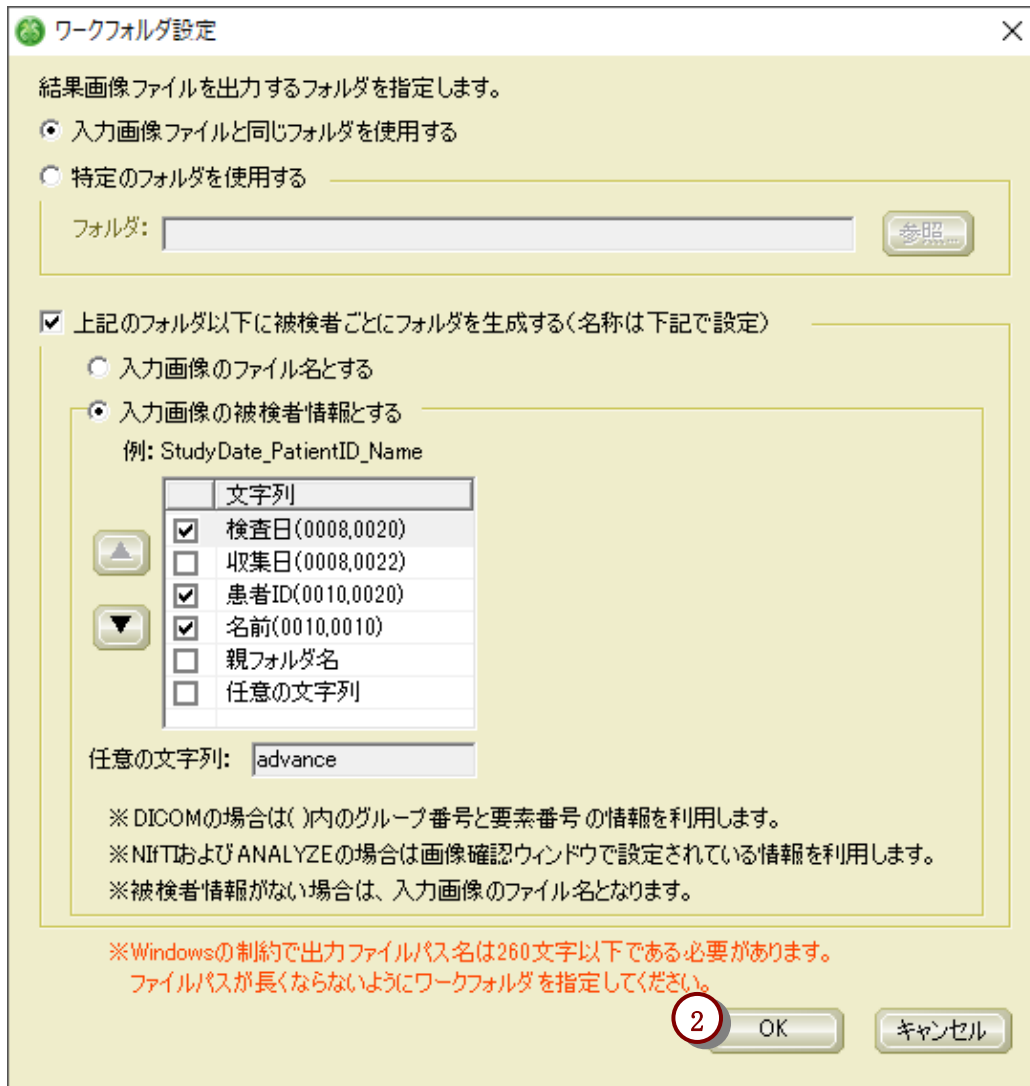
④ 白質の「対照画像との比較で使用するデフォルトの対照画像」について、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。

※「対照画像との比較で使用するデフォルトの対照画像」は「VSRAD advance 2」では「健常者との比較で使用するデフォルトのDB」と表示されます。

※「次の対照画像を使用する」は「VSRAD advance 2」では「次のDBを使用する」と表示されます。

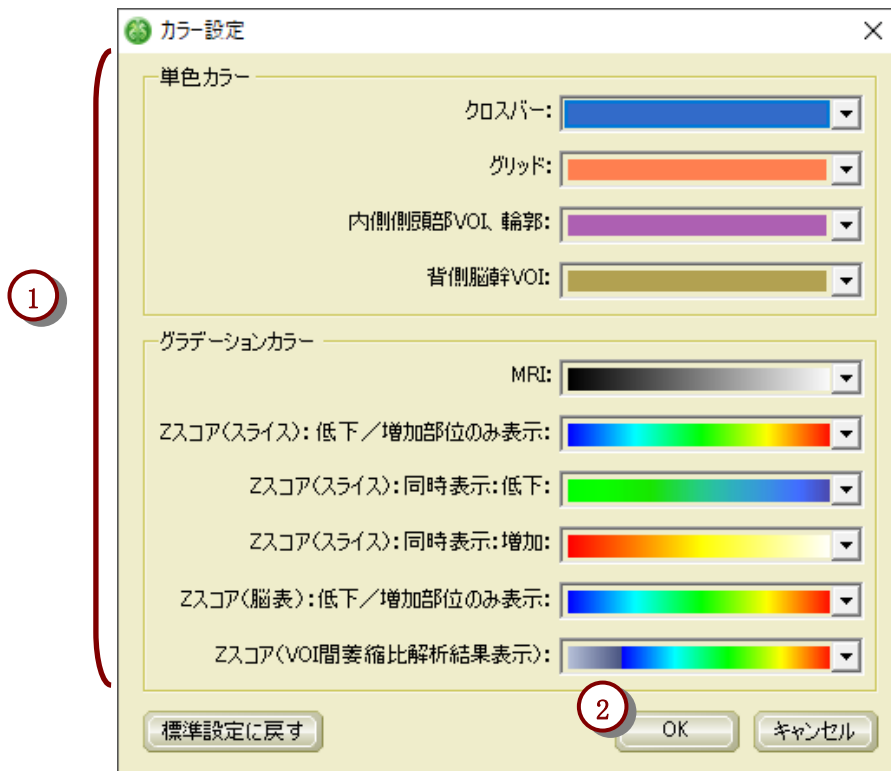
⑤ [OK] ボタンを押します。

2.2.5. [ワークフォルダ設定] の設定



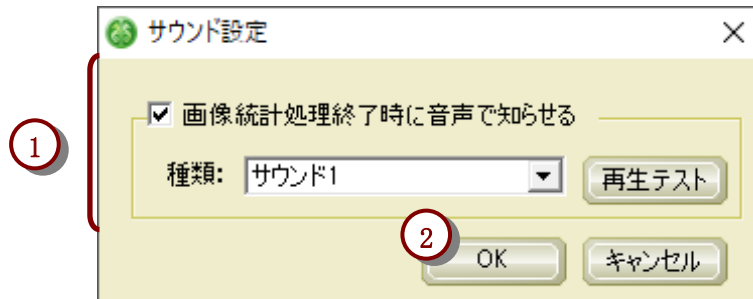
- ①各設定について、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。
- ②[OK] ボタンを押します。

2.2.6. [カラー設定] の設定



- ①各設定について、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。
- ②[OK] ボタンを押します。

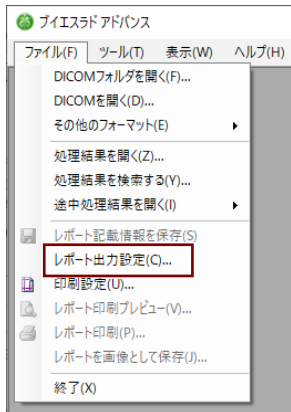
2.2.7. [サウンド設定] の設定



- ①各設定について、「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。
- ②[OK] ボタンを押します。

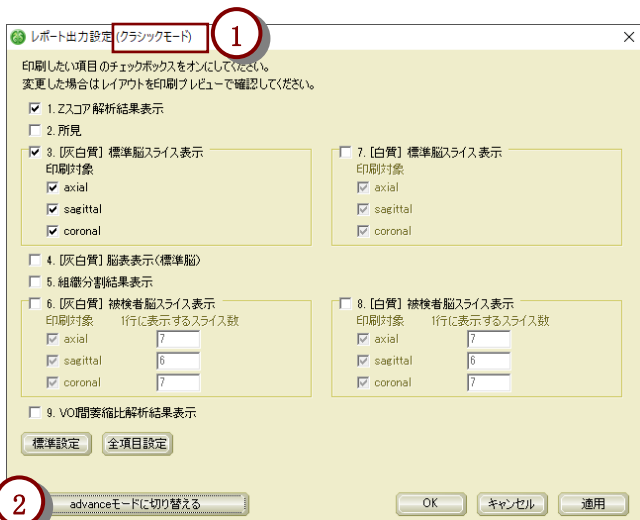
2.3. [ファイル] メニューの [レポート出力設定] を設定します。

2.3.1. [レポート出力設定] を選択します。



メニューから、[ファイル] → [レポート出力設定]を選択してください。

2.3.2. [レポート出力設定] のモードを設定します。



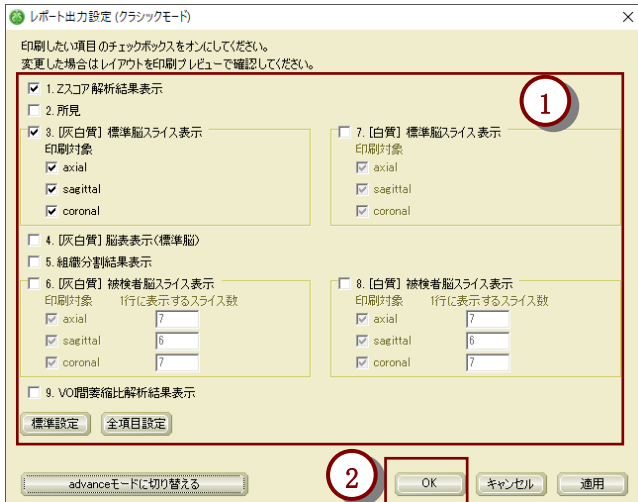
①レポート出力設定にはクラシックモードと advance モードがあります。モードの状態は画面の上の表記で確認できます。

②「VSRAD advance 2」と「バイエスラド アドバンス」でモードが異なる場合は、画面左下のモードを切り替えるボタンで同じモードにします。

<「VSRAD advance 2」のモードにより次の手順が変わります。>

- クラシックモードであった場合 : 2.3.2.1 へ
- advance モードであった場合 : 2.3.2.2 へ

2.3.2.1. クラシックモードであった場合

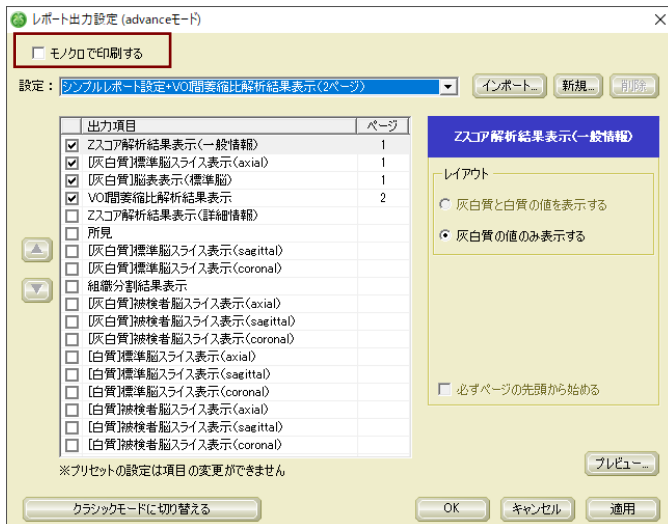


①「バイエスラド アドバンス」の設定を【1.3.2.1. クラシックモードの場合】で記録した「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。

②[OK] ボタンを押すと設定が保存されてウィンドウが閉じます。

<以上で設定の引き継ぎが完了です。>

2.3.2.2. advance モードであった場合

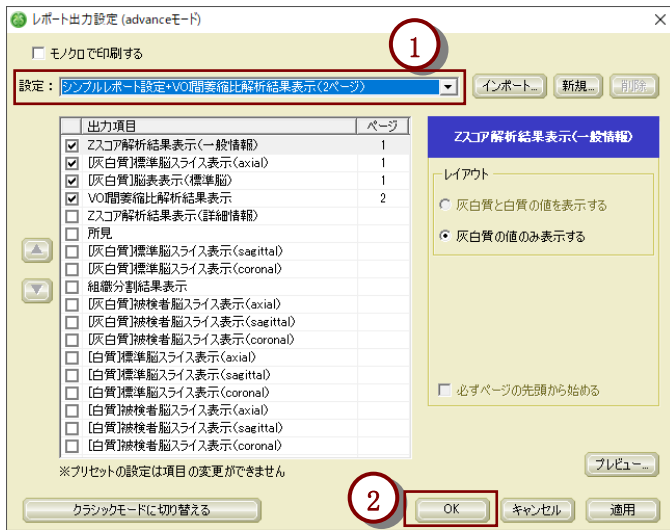


「モノクロで印刷する」のチェックボックスについて、【1.3.2.2. advance モードの場合】で記録した「バイエスラド アドバンス」の設定を「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。

<「VSRAD advance2」の設定により次の手順が変わります。>

シンプルレポート設定であった場合 : 2.3.2.2.1 へ
 シンプルレポート設定ではなかった場合: 2.3.2.2.2 へ

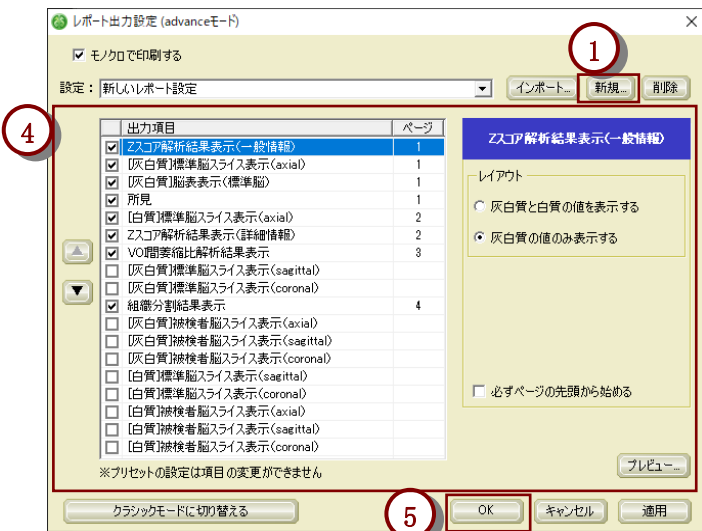
2.3.2.2.1. シンプルレポート設定であった場合



- ①「バイエスラド アドバンス」の設定について、【1.3.3.2.1. 設定がシンプルレポート設定である場合】で記録した「VSRAD advance 2」の設定と同じ設定を選択します。
- ②[OK] ボタンを押すと設定が保存されてウィンドウが閉じます。

<以上で設定の引き継ぎが完了です。>

2.3.2.2.2. シンプルレポート設定ではなかった場合



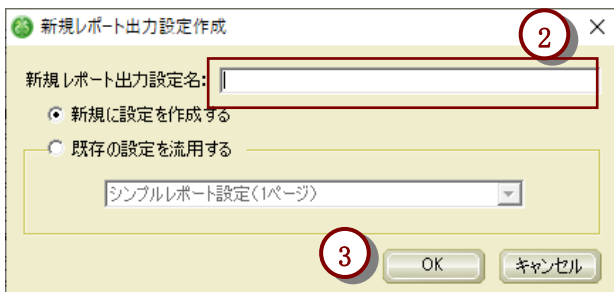
- ①「バイエスラド アドバンス」で [新規] ボタンを押して、[新規レポート出力設定作成] ウィンドウを表示します。
- ②[新規レポート出力設定作成] ウィンドウにおいて、画面上の「新規レポート出力設定名:」の右の入力欄に、【1.3.3.2.2. 設定がシンプルレポート設定ではない場合】で記録した「VSRAD advance 2」で設定されていた設定名を入力します。
- ③[OK] ボタンを押します。

④▲▼ボタン、出力項目、出力項目ごとの設定を操作し、「バイエスラド アドバンス」の設定を【1.3.3.2.2. 設定がシンプルレポート設定ではない場合】で記録した「VSRAD advance 2」と同じ設定にします。

※出力項目「所見」で「コメント(最大 15 行)と評価」または「評価」を選択していた場合は、同名の設定がないため、「コメント(最大 15 行)」または「コメント(最大 5 行)」のいずれかを選択してください。

- ⑤[OK] ボタンを押すと設定が保存されてウィンドウが閉じます。

<以上で設定の引き継ぎが完了です。>



6. アンインストール

インストールした、「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」と「バイエスラド アドバンス」本体をアンインストールする際には、それぞれを個別にアンインストールする必要があります。

6.1. MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)のアンインストール

「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」のアンインストール手順について説明します。

※「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」のアンインストールには、コンピュータ管理者の権限が必要です。

1. アンインストールを実行します。

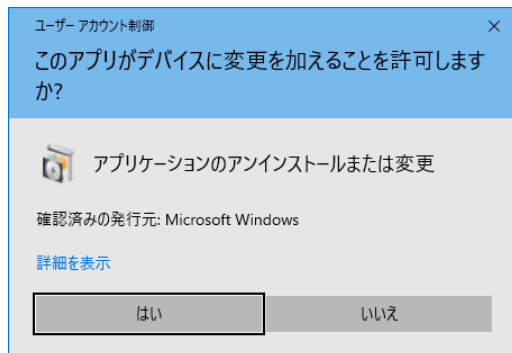
Windows 7 の場合

スタートメニュー→設定→コントロールパネルにある [プログラムと機能] から、「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」を選択し、[アンインストールと変更] ボタンを押します。

Windows 10 の場合

スタートメニュー→Windows システム ツール→コントロール パネルにある [プログラムと機能] から、「MATLAB Runtime 8.5.1 (32 ビット)」を選択し、[アンインストールと変更] ボタンを押します。

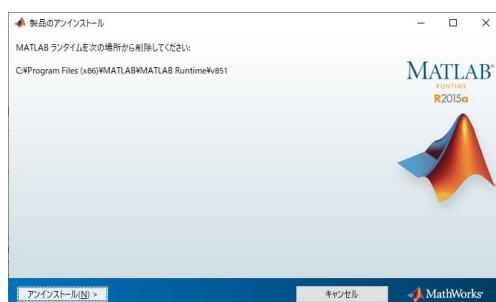
2. [ユーザー アカウント制御] ウィンドウが表示されることがあります。



[はい] ボタンを押します。

※OS の設定によって表示されないことがあります。

3. 「アンインストール確認」ウィンドウが表示されます。



[アンインストール] ボタンを押します。

4. [セットアップステータス] ウィンドウが表示されます。



ご使用の環境によってはアンインストールに時間がかかる場合があります。
しばらくお待ちください。

5. アンインストール後に、[アンインストールの完了] ウィンドウが表示されます。



[終了] ボタンを押してください。

6.2. バイエスラド アドバンス 本体のアンインストール

「バイエスラド アドバンス」本体のアンインストール手順について説明します。

※「バイエスラド アドバンス」本体のアンインストールには、コンピュータ管理者の権限が必要です。

1. [アンインストール] を実行します。

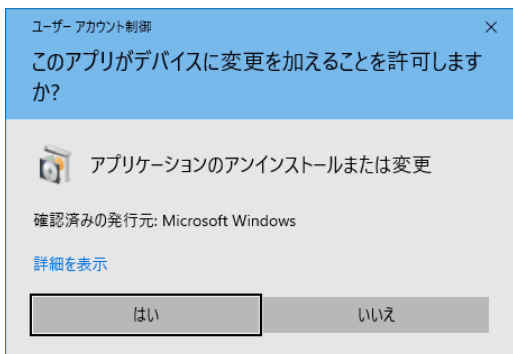
Windows 7 の場合

スタートメニュー→設定→コントロールパネルにある [プログラムと機能] から、「バイエスラド アドバンス」を選択し、[アンインストール] ボタンを押します。

Windows 10 の場合

スタートメニュー→Windows システム ツール→コントロール パネルにある [プログラムと機能] から、「バイエスラド アドバンス」を選択し、[アンインストール] ボタンを押します。

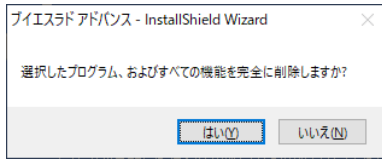
2. [ユーザー アカウント制御] ウィンドウが表示されることがあります。



[はい] ボタンを押します。

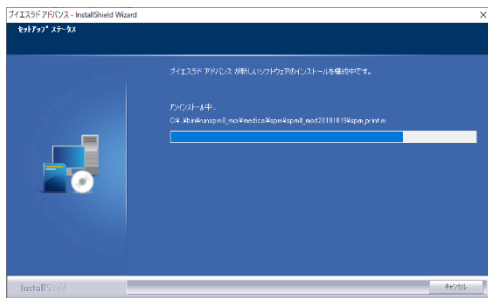
※OS の設定によって表示されないことがあります。

3. 「選択したプログラム、およびすべての機能を完全に削除しますか?」と表示されます。



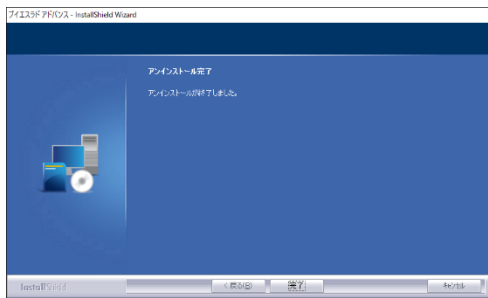
[はい] ボタンを押します。

4. [セットアップステータス] ウィンドウが表示されます。



ご使用の環境によってはアンインストールに時間がかかる場合があります。
しばらくお待ちください。

5. アンインストール後に、[アンインストールの完了] ウィンドウが表示されます。



[完了] ボタンを押してください。

ご注意

アンインストールによって、以下の情報が削除されますのでご注意ください。

※削除の対象となるのはインストールフォルダ以下のファイルのみです。

〈削除されるもの〉

- インストールされたファイルすべて

〈削除されないもの〉

- インストール後にユーザーが新規に作成したファイル
(ユーザーが更新したファイルは削除されるので注意してください。)
- 個人設定ファイル
個人設定ファイルは通常的环境において、次のフォルダにユーザーごとに作成されています。

Windows 7 および Windows 10 の場合

C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\VS RAD\advance_6\conf

※上記のフォルダは、OS の設定によって異なることがあるので、ご了承ください。

